

報道関係者各位

2021年2月1日
昭和電線ホールディングス株式会社

日本政策投資銀行の「DBJ 環境格付」において 2年連続、最高ランクを取得

昭和電線ホールディングス株式会社(本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長:長谷川 隆代)は、株式会社日本政策投資銀行(以下 DBJ)が行う「DBJ 環境格付*1」において、「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」という最高ランクの格付を取得しましたのでお知らせいたします。

「DBJ 環境格付」に基づいて行われる融資は、DBJ が開発したスクリーニングシステム(格付システム)により、企業の環境経営度を評点化、優れた企業を選定し、得点に応じて3段階の融資条件が設定されるものです。当社が本格付を取得するのは、昨年に続き、2年連続となります。



当社は2021年1月、日本政策投資銀行(DBJ)より環境格付融資を受け、格付結果は「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」と評価されました。

今回の格付では、以下の取り組みが高く評価され、最高ランクを取得しました。

- (1) グループ一体となって環境マネジメントシステムを構築し、環境負荷やモニタリングを活用した不断の改善活動を通じ、環境負荷の低減や生産性の向上、高性能電力部品「SICONEX®」*2といった一定の要件を満たす環境貢献製品の拡大など、自主行動計画に基づいた堅実な環境経営を実践している点
- (2) 経営層の下、CSR推進部を中心とした新たなCSR推進体制を構築したうえで、2020年度より新たに統合報告書*3を発行し、事業を通じて社会課題の解決に取り組む姿勢を幅広くステークホルダーのみなさまに伝えるなど、CSR経営を深化させている点
- (3) 改善活動の評価基準に持続可能性の観点を導入したことに加え、CSR推進部が従業員に統合報告書を説明する機会を設けるなど、従業員一人ひとりのCSR意識向上に向けた取り組みを着実に推進している点

当社は、中期経営計画「Change SWCC2022」ローリングプラン(2019)に基づき、CSRを重視した経営を推進しております。また、昨年は環境中長期計画「Green Plan 2050」を策定し、新たな環境ビジョンも加え、「ESG」や「持続可能な開発目標(SDGs)」を考慮した事業活動ならびに環境活動を通じて、社会課題の解決に取り組んでまいりました。

これからも、事業における成長を成し遂げるだけでなく、ステークホルダーのみなさまの期待に応え、責任を果たすべく、持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

〈参考情報〉

- * 1 DBJ 環境格付 <https://www.dbj-sustainability-rating.jp/enviro/>
- * 2 SICONEX®関連リリース
https://www.swcc.co.jp/cs/news/pdf/190122_PRESS_RELEASE.pdf
- * 3 統合報告書
<https://www.swcc.co.jp/environment/download/index.html>

以上

【本件に関するお問合わせ先】

昭和電線ホールディングス株式会社 事業戦略統括本部 経営企画部
TEL:044-223-0520 FAX:044-223-0547